



《将来に向けた取組方針》

Hondaは、自社の企業活動が生物多様性に影響を及ぼす可能性があることを認識し、かねてよりその保全につながる活動に力を入れてきました。2011年には「Honda生物多様性ガイドライン」を制定。生み出す製品と企業活動における環境負荷を最小化することが生物多様性の保全に対する最大の貢献だと考え、同ガイドラインにおいて、「環境技術の追求」「企業活動での取り組み」「地域社会との連携」などの重点取り組み領域を定め、積極的に推進しています。

《具体的取組み事例》世界各地における社会貢献活動の一例として、以下の活動に取り組んでいます

【日本】ビーチクリーン活動

「技術で世の中の役に立ちたい」という想いから、2006年、砂浜の生態系を傷つけずに清掃ができる独自開発機材を利用した活動を開始。美しい砂浜が当たり前になり、ビーチクリーン活動が必要なくなることをめざして。これからも、この活動を続けていきます。

これまでに清掃した砂浜数	全国212カ所
これまでの参加者数	約56,000人
これまでに回収したゴミの量	約500t



【中国】内モンゴルにおける植林活動

夢のある明日の社会づくりをめざすHondaは、世界各地で、人々の喜びにつながる活動を進めています。深刻な砂漠化が進む内モンゴルでは、2008年より、中国のHondaグループ全体で植林活動を継続的に実施しています。

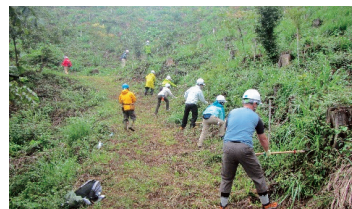
これまでに植林した面積	1,250万㎡
これまでに植樹した本数	約180万本



【日本】水源の森保全活動

森は「緑のダム」とも言われ、空気を浄化し、土をまもり、雨水をたくわえ、生き物を育み、きれいな水を作ります。2003年から活動を開始し現在は事業所周辺にある全国6カ所の地域で、そんな水を育む森を次世代へ引き継いでいくために、保全活動を行っています。

これまでに活動した地域数	全国13カ所
これまでの参加者数	約3,000人



《社会に向けたメッセージ》 Hondaは、「Honda環境宣言」における“地球環境保全”の重要な取り組み課題として“生物多様性保全”を認識し、企業活動との調和を図っていきます。